

徳島大学広報基本方針

本学は、「自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。」ことを使命とし、高度な研究活動を基盤として「進取の気風」を育む教育と地域の目線に立った社会貢献を基軸にその社会的使命の達成を目指している。

そのためには、本学の教育、研究、社会貢献、医療、国際交流などの諸活動に関する質の高い情報を、全世界に対し、また、地域住民をはじめ、学生・受験生、産業界、地方公共団体等のステークホルダーに対して、各種広報活動を通じて発信し、社会的理解と共感を得るとともに、地域社会に対して本学の存在意義と価値を積極的にアピールしていくことが必要である。

ついで、学内外からの“声”を的確に把握して、より戦略的で迅速な広報活動が可能となるよう、広報の基本方針を定め、全学的な広報活動を展開するものとする。

I 大学情報の公表と共有

- 責任の明確な広報体制の下で適切かつ効果的な広報を積極展開し、公的な教育研究機関としての社会的説明責任を果たすとともに、地域社会とより親密な関係を構築する。
- 学生、教職員等学内構成員の間で、大学の理念や目標、将来構想など大学が目指す方向を共有し、構成員一人ひとりがそれぞれの立場で大学経営へ参画することを促す広報活動を推進する。

II 広報意識の醸成

- 教職員全員が自ら広報担当者であるという意識を持ち、常にステークホルダーを意識して、それぞれの職務に応じた情報発信を行うとともに、自らが発信する情報が社会に与える影響にも配慮できる広報マインドを醸成する。

III 広報手法の充実

- 個々の広報主体が学内の統一した方向性を意識し、お互いに相乗効果が得られるような体制を構築する。
- 情報の受け手である広報対象者を明確にし、発信情報がその対象者にとって分かりやすく活用しやすいものであるよう工夫を行うと共に、各種広報媒体の特性を踏まえ、対象者や情報内容に適した効果的な広報に努める。
- ICTの発達による広報手段の急速な進歩を踏まえ、新しい情報発信ツールの活用に努める。

IV 大学のブランド価値の向上

- “何のための大学なのか”を意識し、ブランドイメージは社会の皆様によって作られることを意識して、大学の特色や独自性等を積極的に発信するとともに、外部からの“声”も積極的に取り入れる体制を構築する。
- ボーダレス化、グローバル化に対応した情報発信を積極的に推進する。

V 基本ルールに基づく誠実な広報

- 広報の基本ルールにのっとり、プライバシーや権利を尊重し、誹謗中傷、差別的な表現は厳に慎むとともに、正確な情報伝達、誠実な広報に努める。

VI 検証と改善

- 貴重な資源を最大限活用できるよう、広報活動を効率的・効果的に推進するため、広報のマネジメント体制や広報計画、事務体制等を検証し、改善に努める。